

講演報告「宅地造成に関わる地価形成と法規制」

おおさか ATC グリーンエコプラザビジネス交流会 第 122 回水・土壌汚染研究部会

環境ビジネスの創出を標榜するおおさか ATC グリーンエコプラザには、ビジネス交流会のメンバーが専門分野に特化した研究や情報交換を行う研究部会の一つとして、当社が参加する水・土壌汚染研究部会があります。

2024年3月6日、おおさか ATC グリーンエコプラザビジネス交流会 水・土壌汚染研究部会主催による第 122 回水・土壌汚染研究部会セミナーが同エコプラザ内で開催され、オンライン配信も含め多数の方を対象に、当社土壌環境事業部の本間勝（不動産学博士、千葉県環境影響評価委員会委員）が講演「宅地造成に関わる地価形成と法規制」を行いました。

講演では、「傾斜地の造成史を例に見る不動産科学的考察による地形・地質等を含めた地価形成と法規制」（本間勝・日本応用地質学会「応用地質」第 64 巻第 6 号・2024 年 2 月刊に掲載）より、傾斜地の宅地造成の内容を中心に、今後の日本社会において、傾斜地造成がさらに必要不可欠なのか、利用は規制で調整するのかなどについて、説明しました。

その後の質疑応答では、能登地震の被災地での宅地復興、都市の形成と山地減少の関係、100 年前や高度経済成長期の宅地開発社会状況の再認識、残土管理の実態など、幅広い質問があり、活発な意見交換が行われました。

以上



<本資料に関するお問い合わせ>

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング 経営管理本部 高田（03-5246-4150・代表）<https://www.atk-eng.jp/>